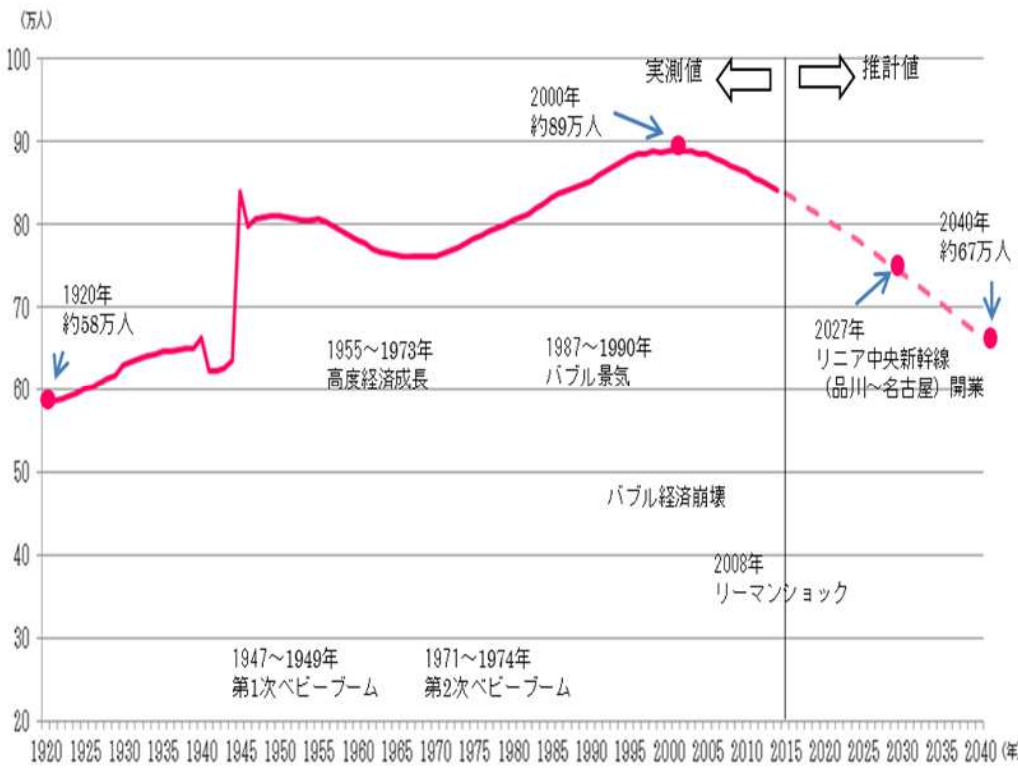


山梨県まち・ひと・しごと創生人口ビジョン(案)の概要

1 人口動向分析

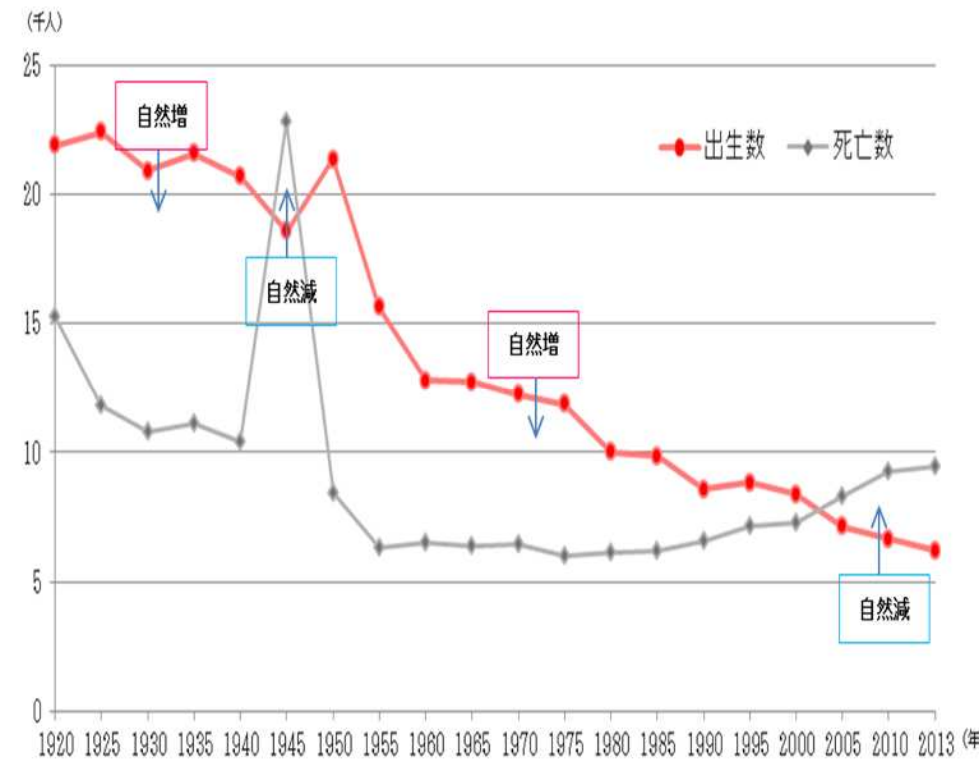
(1) 総人口

総人口は、2000年9月に月別のピークを記録し、現在は83万人台
総人口に占める老年人口の割合は、2040年には約4割になると推計



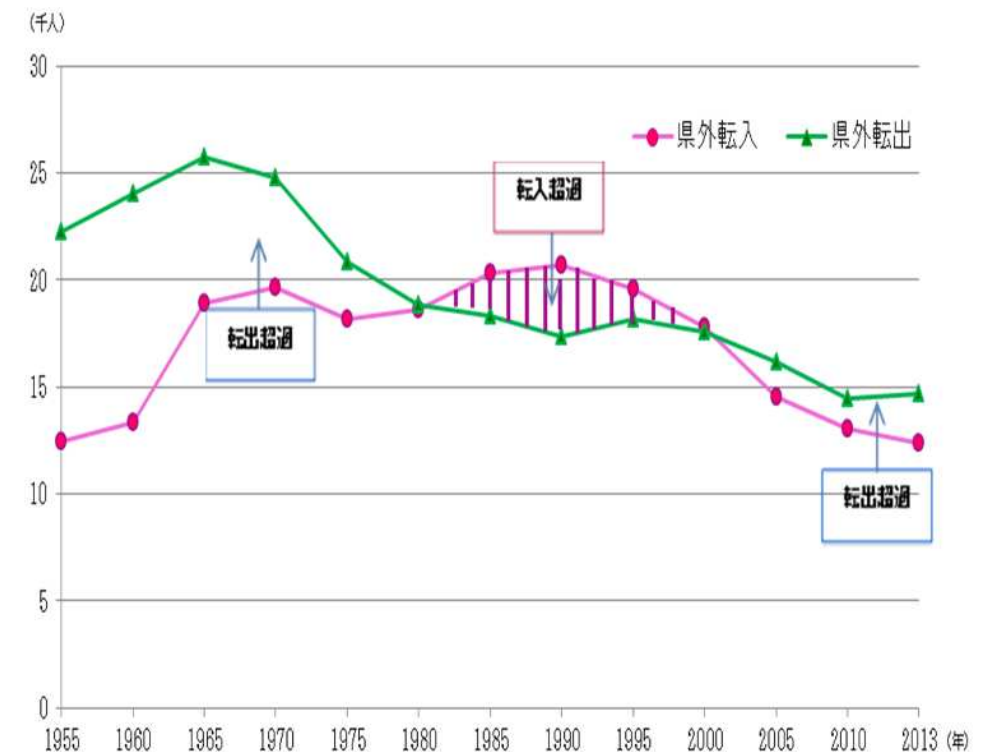
(2) 自然増減

2000年代前半からは、死亡数が出生数を上回る「自然減」の時代
未婚化や晩婚化、雇用環境の変化などが出生数の減少に影響



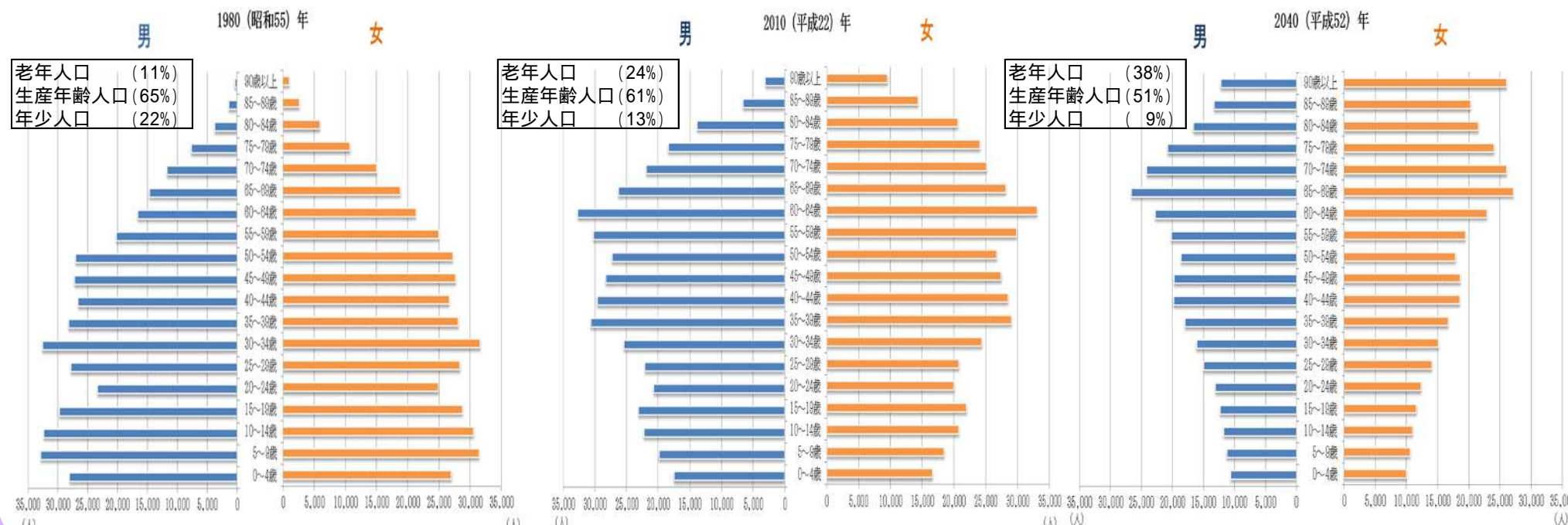
(3) 社会増減

2000年代前半から一貫して社会減(県外への転出超過)
概ね20~40歳代で転出超過、特に20~24歳の割合が高い



2 将来の人口推計と分析

地域経済分析システム(RESAS(リーサス))を活用した人口構成の分析では、総人口に占める老年人口の割合は急激に上昇



小数点第一位を四捨五入しているため、人口構成の割合の合計が100%にならない。

3 人口の変化が地域の将来に与える影響

産業

- ・生産が減少するなど地域経済が衰退
- ・購買力が低下することにより、サービス業などが衰退

医療・福祉

- ・少子高齢化により、社会保障制度の維持などが困難
- ・若年世代の減少により深刻な人手不足

子育て・教育

- ・子育て家庭が減少することにより、地域の子育て環境が悪化
- ・児童・生徒数の減少により、学校としての機能を維持することが困難

地域コミュニティ

- ・相互扶助機能が低下し、地域コミュニティを維持することが困難
- ・若年世代の減少により、地域文化を次世代に継承することが困難

自治体運営

- ・税収の減少により、行政サービスが低下
- ・厳しい財政状況により、公共施設の再配置や縮小が必要

1 将来展望に必要な調査

結婚・出産・子育て等に関する県民アンケート調査

本県の希望出生率は、1.87

【未婚者】

- ・全国に比べ、男女ともに結婚への意欲が高い。
- ・経済的な理由が結婚するに当たってのハードルとなっている。

【既婚者】

- ・理想的な子どもの数と持つつもりの子どもの数との間に乖離が生じている。
- ・持つつもりの子どもの数が理想を下回る理由は、経済的理由と年齢的理由が多い。

学校卒業後の進路等に関するアンケート調査

【県内大学生】(県出身者)

- ・県内に就職あるいは進学を「希望する」学生の割合は、男性が75.2%、女性が62.7%。
- ・就職する際に重視するポイントは、男女とも「安定性」が最も多い。

【県外大学生等】(県出身者)

- ・県内に就職あるいは進学を「希望する」学生の割合は、男性が56.4%、女性が44.4%。
- ・就職する際に重視するポイントは、男性は「安定性」が、女性は「仕事のおもしろさ」が最も多い。

2 目指すべき将来の方向

雇用

基幹産業の発展や、個性豊かな魅力ある地域産業の実現、起業の促進などにより、安定した雇用の場を確保する。

人材

地域産業の担い手となる人材の確保や、高齢者の就労支援、子どもの希望及び社会の期待に応える教育環境の整備などにより、社会のニーズに合った人材を育成する。

人の流れ

移住の促進や本社機能の移転、滞在型・体験型観光の推進などにより、地域経済を活性化させ、人の流れを変える。

子育て環境

若年世代の結婚・出産等に関する希望の実現や、男女とも働きやすい環境の整備などにより、子育て環境を充実させる。

地域

企業、NPO、大学など多様な主体との協働や、交通基盤の体系的な整備などにより、魅力ある地域をつくる。

3 人口の将来展望

パターン①：社人研準拠

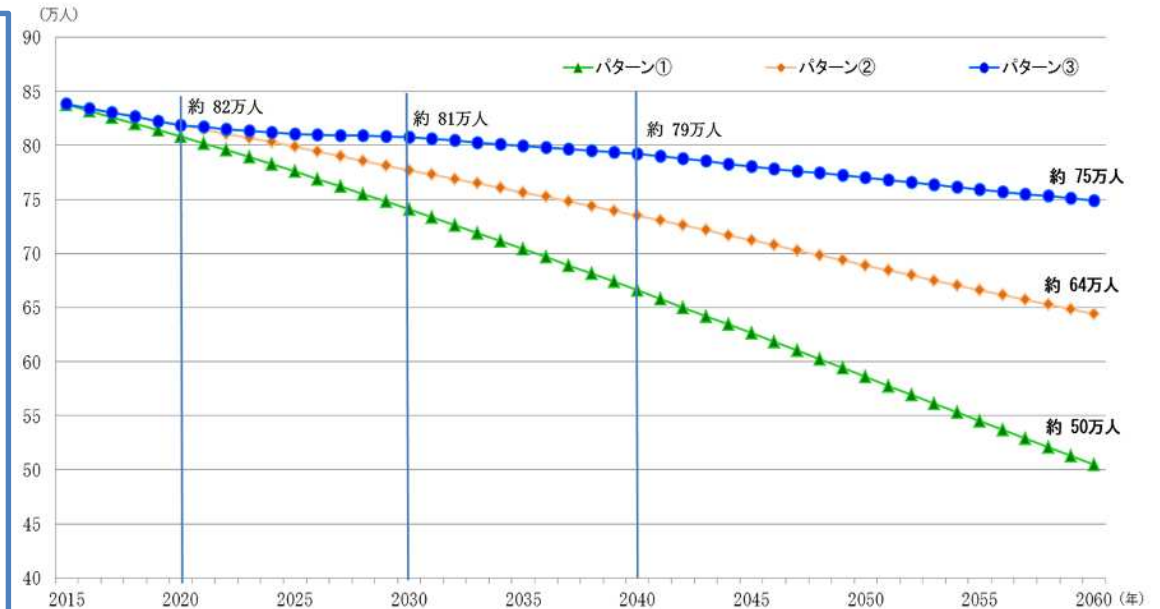
(出生率 2020年:1.37 2040年:1.36)
(移動 2020年:約900人転出超過/年
2040年:約200人転出超過/年)

パターン②：国の目標と同水準

(出生率 2020年:1.6 2030年:1.8
2040年以降:2.07)
(移動 2020年以降:均衡)

パターン③：国の目標を上回る水準

県民の希望出生率:1.87
(出生率 2020年:1.6 2025年:1.87
2040年以降:2.07)
(移動 2020年:均衡
2030年:約3,500人転入超過/年
2040年:約2,500人転入超過/年)



4 やまなしモデル = 「やまなし共生・連携人口」

山梨とのつながりをキーとした新しい人口の概念

本県への経済的な貢献度合
本県への愛着・帰属意識度合

2つの視点から本県とつながりを持つ人口
= 「リンケージ人口」

定住人口と同様な効果をもたらす、あるいは定住人口となることを目指す

やまなし共生・連携人口 = 定住人口 + リンケージ人口

100万人を目指す

リンケージ人口

- 1 二地域居住人口
(別荘・クラインガルテン等の利用者)
・別荘等の数と利用頻度、利用人数を定住人口に換算
- 2 県出身者帰郷人口
(県人会員等)
・県出身者の帰郷頻度と人数を定住人口に換算
- 3 山梨県を訪れる旅行者
(旅館・ホテル利用者)
・旅行者の消費額を定住人口に換算

